

県立広島大学ガバナンスに対する 私の所信

県立広島大学理事長・学長 中村 健一

Presentation内容

- 1.総括
大学を取り巻く環境と本学の現状
- 2.教育に対する所信
-現状の把握と教育目標
- 3.研究に対する所信
- 4.地域連携に対する所信
- 5.大学経営に関する所信

1.総括

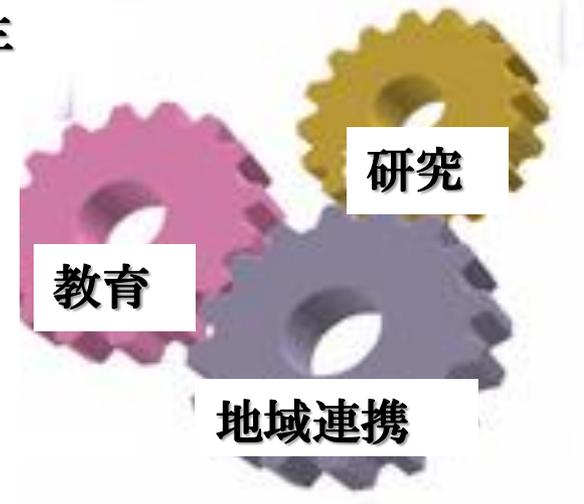
大学を取り巻く環境と本学の現状

大学を取り巻く環境

地域に根ざした、県民から信頼される大学

社会 → 大学

大学における
経営・管理



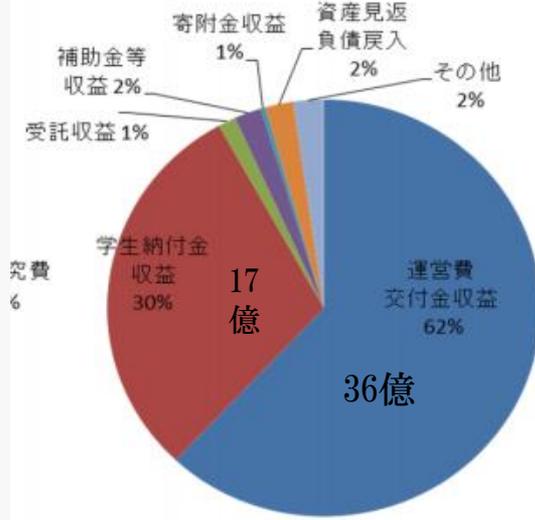
運営交付金 授業料
外部獲得資金

理念の遂行

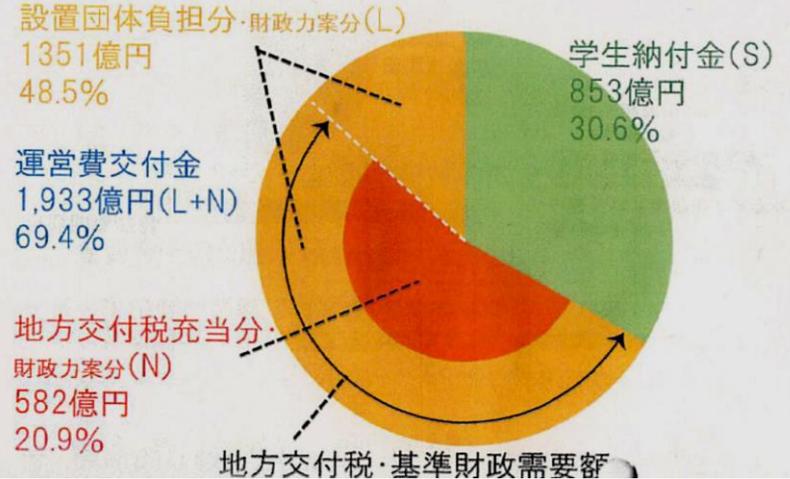
学長のリーダーシップ

本学の財政現状

収益の内訳



(参考)公立大学の姿 ⑥公立大学の財源構成の考え方
H24年度経常費2,786億円。附属病院は含まず。法人化していない大学は運営費交付金に読み替え。

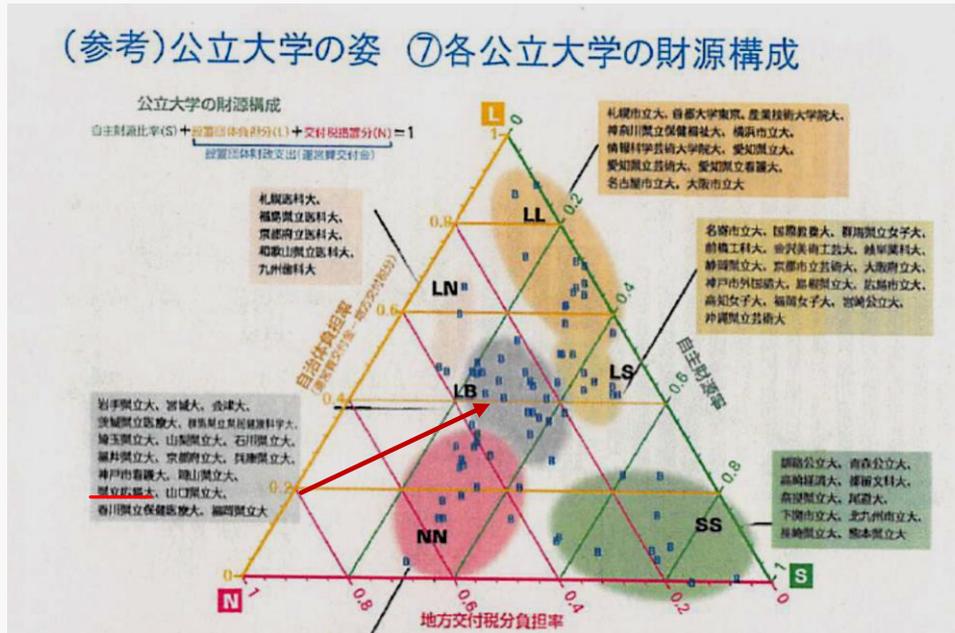


経営運営の基盤

県立広島大学アニュアルレポート2016

2008年度公立大学実態調査

(参考)公立大学の姿 ⑦各公立大学の財源構成



運営交付金
設置団体負担分
地方交付税負担分
学生納付金のバランスは
公立大学で平均的

県(国)民一人当たり 1419円

他の公立大学と
同程度で良とするのは
消滅への道

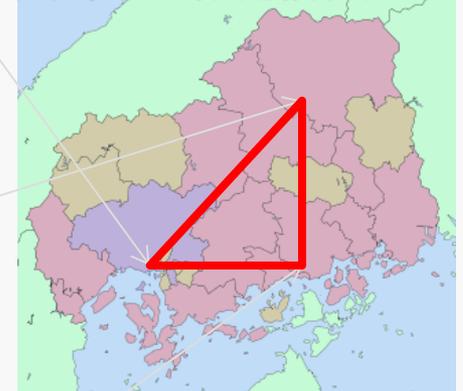
本学の現状

3大学統合してから11年（法人化後 9年）



2005年 県立広島大学

- ・ 県立広島女子大学
- ・ 広島県立大学
- ・ 広島県立保健福祉大学



学部学生 2479名 

教員数 247名

職員数 127名

60.4%の県内入学者

60.4%の県内就職者

基本理念「**地域に根ざした、県民から信頼される大学**」
確かな実践→県民の期待に応える

1. 総括－何を目指すか

地域に根ざし・信頼されるとは

大学が地域に果たす役割

教育・研究・地域貢献



最も重要な役割は、「**地域に誇れる人材の育成**を実践する」ことを優先する全学的合意

(第一・二期中期目標・計画 平成19年度～平成30年度)

人を育てる県立広島大学

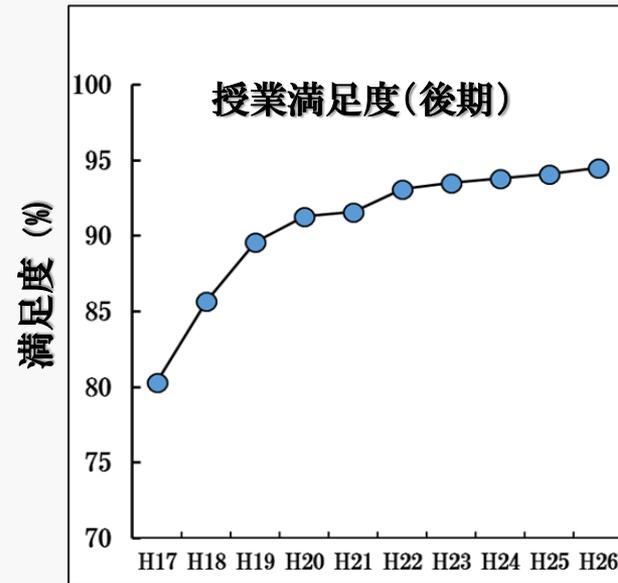
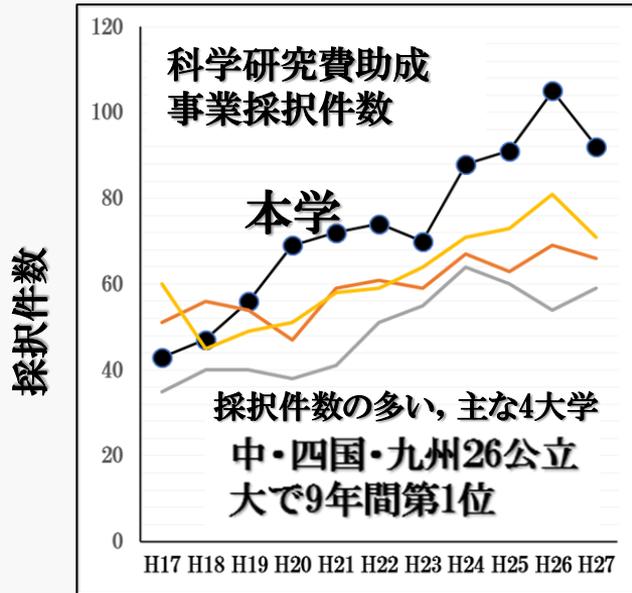
教育

本学の現状（教育・研究・地域貢献）

良い教育を行うためには 確かな研究力が教員にあること

1. 研究力

2. 教育力



○中・四国・九州地方の27公立大学
で10年間1位

○猿橋賞受賞者は本学学位・教員出身

○教職員一体となった教育力改善(FD)の
取り組みによる効果

○少人数の丁寧な教育指導の徹底

* 社会人が9:30 p.m.以降まで学ぶ環境(MBA)

3 教育力と研究力を背景にした地域貢献

公開講座 受講者5000名 満足度94%, 外部資金2億500万円(V字回復)

統合後11年間で130件以上の地域課題解決→内閣府経済社会総合研究所

報告書H27 地域研究のブランド化進展(レモン生理機能研究・宮島学など)



2.教育に対する所信

-現状の把握と教育目標

現状の把握

• 図書館ランキング全国**16**位(公立大学**2**位)

• 全国トップレベルの国家試験合格率

管理栄養士 **4年連続100%**(~H26)

社会福祉士 **79.5%** (H26 全国第1位 含社会人)
(精神保健福祉士全国**第1**位)

• 学生の就職決定率 **99.4%** (H27)

本学の学生は 勉学に励み素直・真面目
礼儀正しい 粘り強い

本学学生の誇るべき資質 社会から求められる能力

それだけで良いのか

主体的な学びの推進 主体性とコミュニケーション力の養成

教育改革→H25から学長直轄→**教育改革推進委員会設置**

H26 文科省の**大学教育再生加速プログラム(AP)**

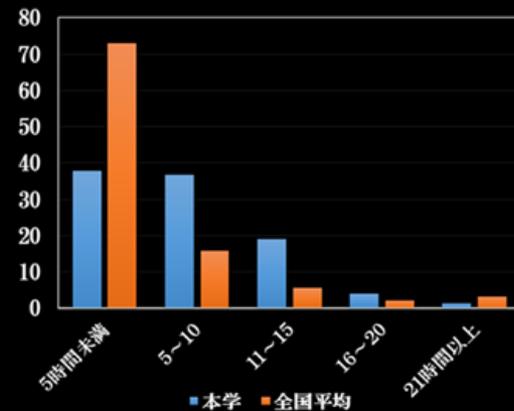
テーマI(アクティブ・ラーニング)に公立大学として**唯1**校採択

現在**37**人の推進教員が誕生！ 本学教育の柱に

学習指導要領改正 小・中・高校(H34) **アクティブ・ラーニング**の導入

広島県教育委員会との連携 “**広島県学びの変革**”の推進・積極的支援

勉強時間週5時間未満の学生割合



現状の把握と教育目標

能動的学修を通しての「人を育てる
県立広島大学」としての様々な実践

⇒AP推進委員会の下に全国展開

順調な成果→

さらに信頼を高める地道な努力を、
弛まなく継続

広島県教育委員会とも連携を開始
進学校の教師との連携

能動的学修(アクティブ・ラーニング)
を介して、生涯に亘り学び続けるアク
ティブ・ラーナーへの育成に努める。
本学重点課題→本学のブランド

有名高校の進路指導教諭が勧める180大学
トップはやはり東京大、私立では慶應義塾大

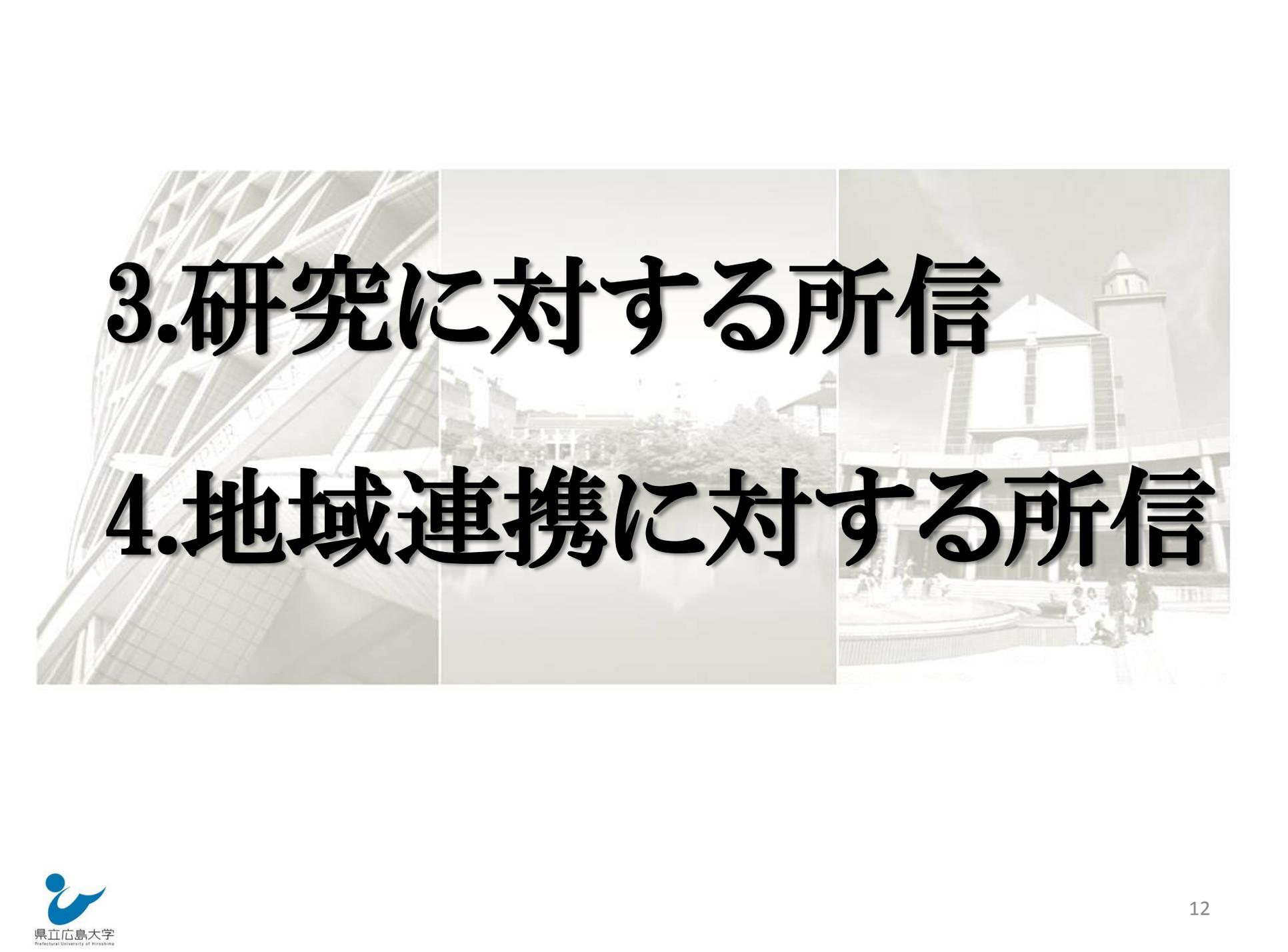
| 順位 | 設置 | 大学名 | 所在地 | ポイント |
|----|----|--------|-----|-------|
| 1 | 国 | 東京大 | 東京 | 1,174 |
| 2 | 私 | 慶應義塾大 | 東京 | 981 |
| 3 | 国 | 京都大 | 京都 | 956 |
| 4 | 私 | 早稲田大 | 東京 | 836 |
| 5 | 国 | 東北大 | 宮城 | 471 |
| 6 | 私 | 国際基督教大 | 東京 | 319 |
| 7 | 国 | 大阪大 | 大阪 | 317 |
| 8 | 国 | 東京工業大 | 東京 | 274 |
| 9 | 公 | 国際教養大 | 秋田 | 270 |
| 10 | 国 | 北海道大 | 北海道 | 242 |

途中省略

| | | | | |
|----|---|---------|----|----|
| 50 | 私 | 芝浦工業大 | 東京 | 15 |
| // | 私 | 東京農業大 | 東京 | 15 |
| 52 | 国 | 九州工業大 | 福岡 | 14 |
| // | 公 | 大阪府立大 | 大阪 | 14 |
| 54 | 国 | 茨城大 | 茨城 | 13 |
| // | 国 | 熊本大 | 熊本 | 13 |
| // | 公 | 県立広島大 | 広島 | 13 |
| 57 | 国 | 京都工芸繊維大 | 京都 | 12 |

東洋経済online 2016 6.27

公立大学では5番目

The background of the slide is a collage of three grayscale images of university buildings. The left image shows a modern building with a grid-like facade. The middle image shows a large, multi-story building with a central tower. The right image shows a building with a prominent tower and a fountain in the foreground.

3.研究に対する所信

4.地域連携に対する所信

3&4. 研究・地域連携に対する所信

1) 教育優先＋研究マインドをKeepする意識 様々な研究環境でもやりぬける人材の確保

- シャーレー一つでもあれば，論文が書ける。研究はできる。
- 学部学生と一緒に研究 Natureへ採択される論文
- 第27回 生化学若手夏の学校 志賀高原・白樺荘 (1987)
生命科学の何が面白いの？……あなたなら生命科学をどう料理する？

講師

中村健一(広島女子大・家政)「研究の底にあるもの-どこでも楽しい研究はできる」

大隅良典(東京大・理)「生化学研究における実験系について」

郷 通子(九州大・理)「モジュールと私」

山本 雅(東京大・医科研)「癌遺伝子研究の分子生物学的アプローチ」

多田富雄(東京大・医) 総合講演

2) 地域に根付く研究成果の進展を推進

地域ブランド研究への選択的投資 ex.学長プロジェクト

3) 外部資金獲得の意欲を醸成 経営方針として

5.大学経営に関する所信

5. 大学経営に関する所信

様々な工夫と仕掛け
①に証書(協働意識醸成をもたらす ex復興城主)と共に、聴講クレジット②を与える。

1) 運営交付金の減少に対して

外部資金獲得 地域連携センターの支援

競争的外部資金の獲得増大

←大型資金への挑戦 環境←研究センターの設立

←資金獲得に対する評価point

企業からの研究資金・寄付金←地域ブランド化研究育成
社会貢献・未来型研究開発事業→①クラウド・ファンディング

2) 学生数の減少に対して

学生目線 学生本位→学生の心に灯を！→Reputation向上

MBAや魅力ある授業・実践的演習→②社会人入学・聴講

高校教諭の心を掴む 県教委とのtightな連携

キャンパス国際化の推進 英語による講義・ETの拡充

3) 理念の希薄化

地域に拘る意識作り →学部・学科再編の断行・意識改革

保護者・地域サポーター・社会影響力ある人の客員教授¹⁵

5. 大学経営に関する所信

- 4) **効率性と帰属意識を醸成する大学運営**
共通の組織目標の浸透, 情報開示, 積極的な対話
* Office Hour 面談者は3倍に増加(19人H24→63人H27)
教員+キャンパス幹部との会議外面談が重要
- 5) **教員・事務職員の企画提案の促進**
企画・提案に関する積極評価 入試業務の一部を戦略に
広報の充実 伝えるメッセージに作ると同等の力を注ぐ
- 6) **授業支援・事務等の作業効率化**
レポート添削・テストの配信システム 入学前学習e-learning
映像コンテンツ作成室・アドバイザー → オンデマンド放映
- 7) **学生が学び・働く環境としての大学**
広報や大学業務への積極的學生参加と活用

最後に

全ての学生が県立広島大学で学んで良かった
全ての教職員が県立広島大学で働いて良かった
と感ずることができ、県立広島大学の構築をめぐりて行きたいと思ひます。

皆様と力をあわせて精一杯取り組んでゆく所存です。宜しくお願ひします。